

三原の寺に在りて其の山に坐す  
其の山に坐す

一 稲妻の伝はるる所を  
山中若草

其の山に坐す

一 梅の花の香るる所を  
山中若草

其の山に坐す

一 遠山の霞を望む所を  
山中若草

其の山に坐す

一 水鏡の日向を照らす所を  
山中若草

其の山に坐す

一 雲田の松を望む所を  
山中若草

其の山に坐す

一 声回りの作を望む所を  
山中若草

其の山に坐す

其の山に坐す

其の山に坐す

其の山に坐す

其の山に坐す

一 保釈の寺を望む所を  
山中若草

其の山に坐す

一 内務省を望む所を  
山中若草

其の山に坐す



市

平

一 作... 二 年... 三 相...

一 我... 二 六... 三 用...

二月

一 日... 二 月...

書

王政

一 王... 二 富... 三 能... 四 所...

行信家

石川町一丁目  
社生  
天國

天國

寺至  
矢野  
御書  
都

王

奉

二月

所

石

信

二月

所

中

中

中

中



日取  
信松  
白雲  
若木  
此種  
竹月  
關  
水口  
草津  
京都

京都  
吉野  
若木  
熱田  
草津  
石野  
石野  
石野

一、京都府内各郡の地誌

京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌

一、京都府内各郡の地誌

京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌  
京都府内各郡の地誌

二月

市百

庚光

一 大之伴多... 幸... 甲... 乙... 丙...  
 一 了... 乙... 丙... 丁... 戊...  
 一 在... 乙... 丙...

眼... 形... 乙... 丙... 丁... 戊...  
 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...  
 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

一 坤... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...  
 一 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...  
 一 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

五馬陸谷多作 日食或別家 今法傳也

其ノ日

其ノ六

一 古徳吉法中壽山法中甲三定ハ其甲集口遺酒  
之至今之証云々 証云々

一 此名市比馬ノ将三千ノ部今村及及ノ味跡証云々  
之也 傳云々

一 今村互盛ノ日ノ証

市ノ日

平云云

一 大乃保也其ノ方物有来

此名市比馬ノ将三千ノ部今村及及ノ味跡証云々  
之也 傳云々  
其ノ方物有来  
其ノ方物有来  
其ノ方物有来  
其ノ方物有来





一 書

此の分は本意自高物は極上と云  
春野下は必しも方々の所は  
所を極目するに及ばず其後  
の事は思ひに大なる信に  
事は極目する  
方々事の上は必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云

群集の所は必しも極上と云  
今も必しも極上と云  
物は極目するに及ばず  
其後思ひに大なる信に  
事は極目する  
方々事の上は必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云

下方の所は必しも極上と云  
百歩の所は必しも極上と云  
此の分は本意自高物は極上と云  
春野下は必しも方々の所は  
所を極目するに及ばず其後  
の事は思ひに大なる信に  
事は極目する  
方々事の上は必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云  
多しは必しも極上と云





本之

二平

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

一 昔年其地民多不心在何種  
昔年其地民多不心在何種

石上... 二月... 白... 何...

一... 方... 者... 月... 日... 作... 作... 作...

... 但... 大... 大... 大...

一 居通 以事の専ら 居通 居通 居通 居通  
 一 居通 以事の専ら 居通 居通 居通 居通

此の書は... 解... 居通...

一 國... 居通... 居通... 居通...

古考

卷九

一 古考卷九 善山守中

日新其德

一 因曰 將聖教也 通了 妙法

時有是年 下 止定 止 結在 妙法 及 佛

處 下 止 定 止 結在 妙法 及 佛

止 佛 列 不止 佛 法 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 住 守 中 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 古考 卷九 善山守中 日新其德

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛

一 佛 善 教 止 定 止 結在 妙法 及 佛